

## IIJ IDサービスを拡充し、SAML連携や外部認証局連携の機能を強化

-- ゼロトラストを推進する上で求められる認証、端末管理機能を提供 --

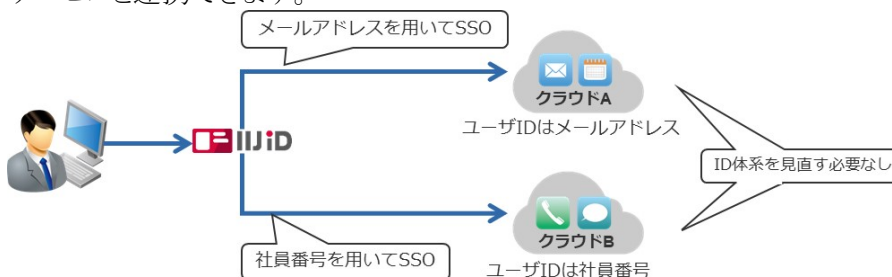
当社は、複数のクラウドサービスの ID を連携させ、一つの ID で利用できる仕組み (SSO: シングルサインオン) を提供するクラウド型 ID 管理サービス「IIJ ID サービス(以下、本サービス)」において、外部サービスとの連携や多要素認証に関わる機能 3 点を拡充し、本日より提供開始いたします。

外部サービスとの連携では、SAML(※1)連携機能を拡張し、連携する各種クラウドサービスの ID 運用負荷を軽減する形でより容易に SSO 連携が行えるようになります。多要素認証については、デバイス証明書認証機能における外部認証局 (CA) との連携機能を強化し、新たにサイバートラスト社のデバイス証明書発行管理サービス「サイバートラスト デバイス ID」に対応します。そのほか、FIDO2 認証(※2)の統制機能を強化し、管理者のみによる管理端末制御や認証可能な端末種別を限定することで、より安全かつ確実に FIDO2 認証をご利用いただけます。今回の機能拡充により、お客様は様々なクラウドサービスに対してより柔軟な連携とセキュリティ強化を実現することが可能となります。

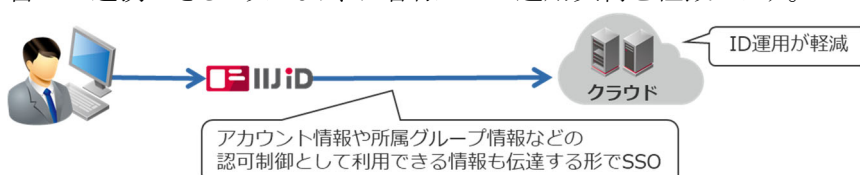
本サービスは、ユーザごと、ロケーションごとのアクセス制御と多要素認証などによるセキュリティレベル向上を同時に実現する IDaaS (Identity as a Service) で、現在、約 4,000 社のお客様にご利用いただいています。IDaaS は、リモートアクセスを利用する際に「すべて信頼できない」ことを前提とするセキュリティモデル「ゼロトラストネットワーク」を実現するための認証基盤としても注目されています。お客様からは、ID 運用負荷の最小化や、リモート端末のセキュリティ強化についてご要望を多くいただいております。これらの課題に応えるべく、本サービスでは以下 3 つの機能を強化いたします。

### 1. SAML 連携強化により、様々なクラウドサービスとのより柔軟な連携を実現

クラウドサービスによっては認証時に、IDaaS とクラウドサービス間でユーザ ID を統一することが求められる場合があります。今回の機能強化により、IIJ ID サービスが、アクセス先のクラウドサービスに合わせてユーザ ID を名乗れるようになり、お客様は既存の ID 体系を変更せずに様々なクラウドサービスと連携できます。



また、ユーザが IDaaS 経由でクラウドサービスにアクセスする際に、クラウドサービスの ID 情報を必要に応じて自動伝搬する「SAML ジャストインタイムプロビジョニング」という ID 管理機能を利用できるケースがありますが、今回の SAML 連携強化の一環で連携の際に伝搬できるユーザ属性情報の種類を拡張したことで、クラウドサービスに対して、より多くのアカウント情報や所属グループ情報を含めて連携できるようになり、お客様の ID 運用負荷を軽減します。



2. サイバートラスト社のデバイス ID との連携により、端末のアクセス制御を容易に  
デバイス証明書認証における外部 CA との連携機能を強化し、新たにサイバートラスト社のデバイス  
証明書発行管理サービス「サイバートラスト デバイス ID」に対応します。同サービスでは、お客様が  
発行した証明書を持つデバイスのみをネットワークに接続させるアクセス制御ができ、本サービスと組  
み合わせることで、認証レベルの強化と運用の利便性向上を図ることができます。
3. 管理者による統制機能を強化し、安全で確実な FIDO2 認証を実現  
パスワードレスを実現できる認証規格である「FIDO2 認証」において、管理者のみが FIDO2 認証を  
行える端末を登録したり、例えば、Windows Hello での認証しか認めないといった認証可能な端末  
種別を限定したりできるよう、管理者による統制機能を強化いたしました。これによりお客様の統制ポ  
リシーに柔軟に応えつつ、より安全かつ確実に FIDO2 認証を利用いただけます。

#### 提供価格

メニュー	内容	初期費用	月額費用
基本機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ID の管理 (Active Directory や Azure AD からの自動連携機能を含む)</li> <li>・アクセス制限機能</li> <li>・カスタムパスワードポリシー</li> <li>・監査機能 (認証履歴の管理) 等</li> </ul>	0 円	0 円 / 1ID
オプション 外部サービス連携オプション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SAML2.0/OpenID Connect1.0 に準拠するサービスへのシングルサインオン (機能強化)</li> <li>・外部 IDP 認証</li> <li>・Azure AD/SCIM サーバへの ID 連携 等</li> </ul>	0 円	100 円 / 1ID
多要素認証オプション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・FIDO2 認証 (機能強化)</li> <li>・SmartKey 認証 スマートフォンアプリ「IJ SmartKey」</li> <li>・メール OTP 認証</li> <li>・デバイス証明書認証 (外部認証局の新規対象の追加)</li> </ul>	0 円	100 円 / 1ID
統合 Windows 認証オプション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統合 Windows 認証</li> </ul>	0 円	24,000 円
統合 Windows 認証マルチリージョンオプション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・統合 Windows 認証機能のスケールアップ / 冗長化</li> </ul>	0 円	24,000 円

➤ IJ IDサービスについては、<https://www.ij.ad.jp/biz/iid/> をご覧ください。

IJ では今後も、よりセキュアで利便性の高い ID サービスの機能拡充に努めてまいります。

※1 SAML (Security Assertion Markup Language) : 異なるインターネットドメイン間で認証や属性に関する情報を安全に交換するためのプロトコル。標準化団体 OASIS によって策定された XML をベースにした標準規格でシングルサインオンや ID 連携に利用されている。

※2 FIDO2 (Fast IDentity Online 2) : W3C の Web 認証仕様 (WebAuthn) とそれに対応する FIDO アライアンスの Client to Authenticator Protocol (CTAP) で構成された認証方式。

#### 報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 荒井、増田

TEL : 03-5205-6310 FAX : 03-5205-6377

E-mail : [press@ij.ad.jp](mailto:press@ij.ad.jp)

URL : <https://www.ij.ad.jp/>

※本プレスリリースに記載されている社名、サービス名などは、各社の商標あるいは登録商標です。